

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

送信先: report@r-ict-advisor.jp

報告日 令和4年6月7日

派遣決定番号

報告回次

1日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	広島市	代表者名	松井一寛		
担当者部署	市民局	連絡先電話番号	082-504-2495		
担当者役職	主査	担当者氏名	正留圭一郎	連絡先E-mail	
住所	733-0035 広島県広島市中区国泰寺町一丁目6番34号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	浅野 隆夫
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	数々の先進事例のご紹介とそれがどのような効果をもたらしているのかなどを具体的にご説明いただいたことで、広島市立中央図書館の移転再整備を見据えた図書館活性化策やサービス向上策の策定への大きな動機付けができた。職員にICT活用による業務効率化への意識付けが図られ、DX推進への心理的なハードルが低くなった。さらに館内でグループ別に取り組んでいるDX推進等について個別面談形式で具体的な指導をいただいたことで今後の展開に「弾みがついた。
アドバイザーへの要望事項	今回のご支援内容を踏まえ、様々な取組にできることから順次着手したいと考えております。引き続きよろしくお願いいたします。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和4年5月31日	支援・助言(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			9時30分	17時15分	60
			活動時間（分）	405	
3-2. 派遣場所	会場名	広島市役所市民局生涯学習課	最寄駅	広島駅	
	所在地	広島市中区国泰寺町一丁目6番34号	最寄駅からの交通手段	バスまたは市内電車またはタクシー	

4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	図書館職員	40人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	広島市立中央図書館等の移転再整備については、令和4年度中に広島市立図書館全体のあり方や基本方針等について整理することとなっている。そうした中、移転再整備に向けどのようなサービス展開をしていけば、中央館としての機能を維持しながら、新たな利用者層を含め、図書館利用者の満足度を高めていけるのか、またそれに向けて職員の資質能力の向上をどう図っていくかが課題である。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	図書館活性化やサービス向上に向けた取組（短期・中期・長期）の計画案を年度内に策定する（実施は令和4年4月以降） とりわけDX推進の具体的な内容については一定の予算措置を伴うことが見込まれるため、できるだけ早期に概要を決定する必要がある。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	（午前）中央図書館に加え、各区の図書館員に対し、地域情報化アドバイザーがこれまで携わった他都市の事例を紹介、ICTの活用による利用者サービスの向上の具体例、図書館員の業務の効率化及びモチベーションのアップの具体的な成果等について講演いただいた。 （午後）図書館員が複数のグループにより検討を始めたDX推進、ICT活用を中心とする、業務効率化やサービスアップなどの個々の計画について、個別の面談形式でアドバイスをいただいた。	

	10月17日（水）の個別の計画について、個別の面談形式でアポイントメントをいたしました。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に向けた講演では、ICTを活用した図書館サービスアップについて具体例を用いてわかりやすく説明していただいたことで、DX推進への抵抗感が低くなった。 ・①「DXによる効率化」②「デジタルアーカイブ」、③「市民周知（SNS活用）」など、10の個別プランについて、職員の気持ちに寄り添って疑問や不安を解消していただくことで、職員が自信を持つとともに、課題解決への道筋が分かった。 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 次回以降、プランの中に盛り込まれる予定
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	移転再整備にかかる「情報拠点としての図書館のあり方」についての総括や具体策のとりまとめ	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 詳細は現在分析中であるが、受講者全員が「大変満足」または「満足」と回答している。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	移転再整備を見据えた図書館活性化やサービス向上に向けた取組(短期・中期・長期)の策定	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお、その他を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

